

平成 27 年度 「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)
1 対 1 対談 (朝日町) 会議録

1 開催日時

平成 27 年 10 月 14 日 (水) 10 時 15 分～11 時 15 分

2 対談場所

朝日中学校 1 階 多目的教室 (朝日町大字柿 2838 番地)

3 対談市町名

朝日町 (朝日町長 栗田 康昭)

4 対談項目

- (1) 「ICT の活用等による新たな学びの推進」の支援について
- (2) 元気な「あさひっ子」への応援について
- (3) 北勢バイパス四日市・朝日交差点の改良について

5 会議録

(1) あいさつ

知 事

改めましておはようございます。本日は栗田町長におかれましては、お時間を頂きましてありがとうございます。また、幼保一体化施設、それから中学校、大変有意義な視察をありがとうございました。まずは、栗田町長におかれましては、今年の 6 月 5 日に就任をされて、そして今回初めての対談となりますのでどうぞよろしく願いをしたいと思います。選挙は 4 月 26 日であったと思いますが、就任日が 6 月 5 日ということで三重県にサミットが決まった日と同じ日でございますので、そういう意味では大変素晴らしい日に就任していただいたなというふうに思っております。町長におかれましては子育て等を中心に第一に掲げていただいて、この朝日町の大きな・様々な課題に取り組んでいただくという、大変決意と覚悟を持っていただいている方だと思っておりますので、ぜひこれから県とも連携をしていただいて、有意義に町民の皆さん、県民の皆さんのために共に頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願い申し上げたいと思っております。

それから、昨年ですかね、町政施行 60 周年を迎えられ、朝日町もこの歴史の中で様々な変遷を経てきたと思っておりますけれども、また新しい課題、県内でも多くの地域で人口減少が起きている中で人口増加など、なかなか他ではない悩みもたくさんあると思っております。ぜひ連携してそういう課題の解決に向けてこれからも頑張っていきたいと思っておりますし、この 60 年を迎えて、今年 61 年目ですけ

れども、今後また朝日町がますます発展されることを心から期待したいと思えます。それでは今日は限られた時間ですけれども、館県議、それから地元の町議の皆さんもたくさんお見えですので、しっかりと有意義な時間にしたいと思いますので、よろしく願います。

朝日町長

どうも、ありがとうございます。今日は1対1対談ということで、本当に知事には私の6月5日からの就任ということで、6月7日ぐらいだったと思いますが知事にご挨拶に向かいました。それ以来、ということでございまして大変緊張しているわけでございます。今日は本当に1対1対談というふうな、こういうふうな場を持っていただきまして本当にありがとうございます。今日は先ほどもありましたが、館県議、朝日町の議会からもたくさん来ていただきました。この場の開催にあたりまして、議会の皆さんには昔の仲間でございますから「栗田さんよ、ちゃんと喋れよ」「後から押してやるからな」というふうな温かいお気持ちもあったんでございますが「本当によく喋られるのか」とこんなような形もいただきました。という状況の中で大変心強く思っています。どうもありがとうございます。

先ほど知事も触れていただきました朝日町は宅地開発というふうな状況の中で、大変人口が増えます。今1万500人までというような状況でございますけれども、平成22年の国勢調査では35.3%というふうな人口の伸びがございます。全国で一番、というような状況でございます。今、地方創生の段階の中で人口ビジョンの中でちょっと資料を今日のために見てきましたが、人口密度も1千630人ぐらいという状況でございます。三重県下1位ということでございますし、それから先ほど申し上げました人口の増減率、平成24年～25年の数値でございますがそれにおいても、県下1位ということで、ありがたく思っています。また、出生率、それから若者の比率、これも三重県下の中ではおかげさまでそういうふうな状況の中で新しい力ある町へというふうな状況になってきておりますので、これから頑張っていきたいなと思えます。けれども、今知事さんがおっしゃっていただきましたように、産みの苦しみではございませんけれども、色々な形の中で課題が山積しているというふうな状況でございます。今日はその中でも3つについて知事にご支援をお願いするというふうな形の中でよろしく願いたいと思えます。何はともあれ、それからの知事さんのリーダーシップと言いますか、6月5日まさにというような今お話でございましたが、伊勢志摩サミット、プレスとか新聞とかで、大変知事の活躍、リーダーシップに共感をさせてもらっています。三重県が本当にこの日本だけではなくて世界へ打って行くというような状況の中で、この北勢地域であります

けれども、朝日町も色々な形の中で知事のリーダーシップの元、後押しと言いますか、色々な形の中でご協力をさせていただきたいというふうに朝日町町民全員で思っておりますので、これからの活躍と言いますか、ご期待を申し上げます。こんなふうに思っております。限られた時間でもございますので、そういうことでよろしくお願ひしたいというふうなことでお願ひ申し上げまして、簡単ではございますが朝日町の長としての挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。

(2) 対 談

1 「ICT の活用等による新たな学びの推進」の支援について

朝日町長

では知事、よろしくお願ひいたします。先ほど2年1組の教室を見ていただきました。当町でもICT環境整備を進めています。しかし、今年度の9月までは大型モニターと書画カメラだけの運用をしております。ですから子どもたちが機器に触れ始めて今日少しトラブルがあったわけでございますけれど、2週間の様子を見ていただきました。まさに2週間というふうなところでございます。現在子どもたちの身の回りではインターネットやパソコン等が普及しております。これを授業に活用することで、ICTの便利さを活かした分かりやすい授業が可能となり、学習の質が向上できると考えています。第2期教育振興基本計画にもあるように確かな学力を身につけるため、ICTの活用等による新たな学びの推進を朝日町においても行っていきたいと、こんなふうに考えております。そこでぜひ、これから申し上げます要望と言いますかお願ひについてよろしくお願ひを申し上げます。まず1つ目でございますが、ICT環境整備については多額の財政負担が必要になります。今回はコンピュータ等の機器更新の際に端末のスタイルを分離できる方式、タッチャブルにすることで、普通教室においても活用できるようにしました。そのため、新たな財政負担を生み出すことなくタブレットが活用できます。しかし、本来コンピュータ室の端末ですから制約がつきものとなり、いつでも活用できるわけではございません。そこで、生徒1人1台のタブレット活用ができる整備費用の援助について国への働きかけを知事にお願ひするものでございます。

それから、2つ目の要望でございますが、活用促進のための人材育成です。たとえ環境が整えられたといたしましても、それらの機器が効果的な活用をされなければ意味がございません。これまで普通教室でタブレットを活用する環境が無かったため、朝日町の教員にとっては今年度がスタート地点になります。そこで、教員がICTを活用した指導ができるように教員のICT活用・指導力向

上のための必要な施策を県にて講じていただけないでしょうか。例えば、県内の先進的な実践事例を紹介していただいたり、朝日町のシステムで最大限の成果が得られる様々な研修を開催していただく等して ICT の活用に対する理解やスキルが身につくようお願いをいたしたいと思えます。2 つでございますが、もっと他にも要望させていただきたいことがございますけれども、要望に対する厚いご支援をお願いするとともに、ICT の活用等による新たな学びの推進を応援していただきますようよろしくをお願いを申し上げたいと思えます。

知 事

はい、ありがとうございます。まず、この朝日町におかれましては、町長を先頭に子どもたちへの教育、こういう部分について力を入れていくと、大変心強く思っているところであります。ICT 直接ではありませんけれども、今年の 8 月に発表になりました全国学力学習状況調査におきましても、朝日町は着実に成果を上げていただいていると理解をしておりますし、大変心強く思っています。先ほどの 2 年 1 組の授業の中においても、めあて・振り返り、そういう学力向上における基本的な、重要な仕組みを授業の中で取り入れていただいているということに大変心強く感じたところであります。加えて今、この ICT について利活用し、子どもたちの学びの環境を充実させていきたいという強い町長の決意を聞きまして、大変心強く思っているところであります。

さて、2 点お話をいただきまして、1 つは環境整備に対する国への働きかけと 2 つ目は研修や事例紹介ということの県の取組ということでありました。まず、まさにこの朝日町が ICT ということについて、特に県内でも先進的にリソースを投入してやっけていただいていると認識しています。ちなみにこの学校 1 校当たりの教育用コンピュータ関係の決算額を見ますと、平成 26 年度は三重県全体平均で 200 万 8 千円なのですからけれども、色々国の事業等を活用して先進的と言われる松阪市三雲中等でやっているような、松阪市は 341 万 8 千円なのですが、朝日町においては 343 万 5 千円ということで、松阪市よりも多いというようなことで、県内の平均が 200 万 8 千円ですからそれよりも相当投資をしていただけてまさに朝日町の教育の特色と言えるところまで持って行っていただいていると思えますので、そういう部分の取組を後押しすることが県としても大事なことだと思っております。ご覧のとおりハードの部分については、交付税措置されていますので、そこをしっかりご活用いただくということですが、国の方でも 26 年度～29 年度の 4 年間総額で 6 千 7 1 2 億円の地方財政措置を講ずると、教育の情報化に向けてやるというようなことでありますし、ICT 活用教育アドバイザーの派遣がありますので、我々も今町長がおっしゃっていただいた通り、国に対してこういう予算をしっかりと確保していくように、そ

うというような働きかけを朝日町さんと連携して共にやっていきたいと思えます。

それから 2 点目の部分につきましては、まさにおっしゃる通りで、私が経済産業省にいた時ですけれども、今日ちょっと東芝さんの関係の中で大変申し訳ないんですが、インテルという会社がありますけれども、中国と韓国のほぼ全員の教員はインテルの IT を使ったプレゼンテーション研修等を国費で受けているというようなことで、そういうところで教育の差がついてしまうといけないと私も危機感を持っているところであります。県総合教育センターで ICT を活用した指導力向上のための研修というのを、インターネットを活用した研修講座を含めてさせていただいておりますけれども、おっしゃっていただきました通り、こういう研修をしっかりと、中身の充実も図ってこの ICT を活用できる教員の人材育成に県としてもしっかりと取り組んでいきたいと思えますし、町長がおっしゃっていただいたような県内外の先進的な事例を紹介できるような研究も我々もしっかり進めていきたいと思えますので、よろしく願いしたいと思えます。

2 元気な「あさひっ子」への応援について

朝日町長

はい知事、よろしくお願ひいたします。2 番目でございますが、先ほどあさひ園と一緒に踊っていて、なかなか慣れないことで知事さんはさすが 3 歳の子どもさんがおみえだという状況の中で、感心させていただきました。2 番目でございますが「元気なあさひっ子を応援してください」というふうな状況でございます。今、あさひ園につきましては 476 名の 0 歳～5 歳までというふうな子ども達が通っております。確かにスタッフも大変な形の中でやらせてもらっていますが、毎日が毎日、言葉的には戦争というのはあれですが、大変な形だというふうにご理解をいただきたいと思えます。全国的には少子化となっている中で当町はさきほど申し上げました 22 年度には国勢調査では人口伸びが一番になった。このような形の中で子どももたくさん増えます。小学生は 1 千 2 3 人、中学生は 362 人の生徒。子どもは先ほど申し上げましたように 476 人という格好の中で、人口 1 万 5 0 0 人の中で、非常に若い町というふうな状況でございますその生みの苦しみという形で今申し上げましたけれども、実際は保育・教育の現場は大変困難な状況下にあります。特に近年、障がい児の数が増えております。今年度は障がい児保育の必要な園児が 31 名、その他支援が必要な園児が 20 名在籍をされております。園では従来から県の委託事業によりまして、みたき総合病院さんから理学療法士と作業療法士、あさけ学園から社会福祉士が来ていただいておりますけれども、増加する障がい児に対する体制が十分とは言

えないのが現状でございます。このため、今年度から地方創生予算により小田田記念温泉病院から来ていただいておりますけれども、病院側の人数体制が不足している状況がございまして、来園の回数が不足しているというのも、これも現実の状況でございます。当町単独ではこれらの資格者の確保はとても困難でございますので、ぜひ県にて人材を確保していただきまして、当町へ直接ご支援の体制、整えをいただきたいというふうをお願いいたします。これが1点でございます。

それから、重度障がい児につきましては、課題がもっと大きくて、従来は隣接の市の施設で受け入れていただいていたけれども、その隣接の市も受け入れ許容数が超えたということで、本年度（27年度）は入れていただけませんでした。これに代わる施設は、現在はあすなろ学園のみであるため、単独での整備が困難な北勢地域と言いますか、三重郡に同様の施設を早期に整備していただけるようお願いを申し上げたいというふうに思います。

今日は本当に先ほども申し上げましたが、小さなあさひ園の子どもたち、本当に現場の空気を感じていただけましたし、職員も一生懸命やっております、職員の事もあたたかい言葉がけをしていただきました。ありがとうございます。ということでございまして、2点についてよろしくご支援の方お願いをいたします。

知 事

はい、ありがとうございます。今町長おっしゃっていただきましたように、2点あったうちの障がいのある児童の支援、地域の療育相談支援体制の充実ということで、県単独の委託事業でやらせていただいて、専門家派遣等もやらせていただいているところですが、先ほど町長からありましたようにあけぼの学園において、利用者の増加で新しく利用が難しくなってきたというような話を私たちも聞いております。そこで今基本的には障がいを持っている児童の療育の支援の部分については、障害福祉圏域において皆さんで自立支援協議会を設置していただいて、そこで協議をいただくというのが基本でその中でそういう今町長がおっしゃっていただいたような新しい事業所の設置をするのか、あるいは事業所の定員の増加をするのか、それとも保育所の訪問支援をやっていくのかということで、今ご議論いただいていると聞いております。我々としては、もし新しい施設の設置ということになった場合には、そういうのが補助採択になるのかどうかというのを一緒になって検討させていただいて、国の支援の制度があるならそういうのを活用し、検討していきたいと思いますが、まずは圏域における自立支援協議会の皆さんの中での地域の実情に応じたどういう方策がいいのかという議論を我々も一緒に議論をし、その施設整備が必要というこ

とになれば補助対象として採択できるように前向きに協議をしていきたいと思
います。

それから2点目のあすなろ学園ですけれども、朝日町さんでは既に平成22年
度、あすなろ学園の方に職員を派遣していただきみえ発達障がい支援システ
ムアドバイザーとして養成していただき、その後、支援窓口機能を整備して
いただいているということで、大変ありがたく思っています。まさにあすなろ
学園は児童精神科の専門医療施設であるわけでありますが、児童精神科の専門
医が非常に少ないという状況の中で、この他に新たな施設を増設するというの
は非常に難しい状況の中で、市町の皆さんの人材の育成を私たちも一緒にお手
伝いさせていただいて増やしていくというのがこのシステムアドバイザーの取
組であるわけですけれども、加えてあさひ園において、「CLM (Check List in
Mie: 発達チェックリスト) と個別の指導計画」という子どもたちの発達障がい
の状況等を早期に発見するためのシステムと、その個別指導計画というのにつ
いてもあさひ園においてすでに取り組んでいただいていると聞いておりまして、
大変感謝をしているところであります。そこで我々としては今度29年度に新し
いこども心身発達医療センター(仮称)を作るわけですが、まずはその機能を
をしっかり充実して今あすなろ学園で新規外来6か月待ちとなっている子ども
たちへの対応というのを改善する、というようなことをまず先にやっていき
たいと思っております。ちょうど29年度に施設ができますので、昨年度だったか
な、あすなろ学園まで全県から来ていただくのは大変なので、地域の医療機関
でそういう発達障がいについて、医療の側面から色々対応できるところをアン
ケート調査させていただいて、現在対応可能医療機関一覧というのを、横軸に
対応できる項目が書いてあって縦軸に医療機関が書いてあるのですけれども、
そういった一覧表も公表させていただいて、そういう地域の医療機関で対応で
きるような体制も少しずつ整備しつつあるところでありますので、ぜひそうい
うのがさらに広がっていくように私たちとしても取り組んでいきたいと思っ
ています。併せてそういう医療機関の皆さんに自分の専門の事もさることながら
子どもたちの様子、福祉や保育という部分についても勉強していただくような
研修会を医療機関の皆さんを中心に対象としてやらせていただいているところ
であります。いずれにしても、まずしっかりあすなろ学園と同様の施設を
増設というのはちょっと難しいのですけれども、先ほどのあけぼの学園等も含
めて児童発達支援センターや障がい児福祉施設、あるいは地域の医療機関とあ
すなろ学園が連携をしてそのノウハウがしっかりと伝授されて地域で少しでも
対応できるような取組の支援ということについてはしっかりと取り組んでいき
たいと思うところであります。

3 北勢バイパス四日市・朝日交差点の改良について

朝日町長

当町の道路整備につきましては、一昨年の1対1対談の時に県道桑名川越線の道路改良をお願いしたところでございます。早速、昨年度から事業に着手していただきありがとうございます。今年度は早期完成にむけてよろしくお願いをいたします。

さて、本日お願いいたしますのは、事業主体は国でございますけれども、ぜひ知事にご支援をいただきたい北勢バイパス四日市・朝日交差点の改良でございます。地図をご覧ください。場所は伊勢湾岸道路、三重朝日インターチェンジに隣接する、点線で囲んだ部分でございます。周辺の道路網を見ますと、付近の幹線道路は慢性渋滞をしている国道1号および国道23号そして北勢バイパスがあります。しかし、図に南海トラフ地震による津波浸水区域を加えますと、これらの道路は全てが水没をしてしまう恐れがあり、命の道であるべき北勢バイパスの一部、1号線の東側は水没をしてしまう、こういう状況でございます。このため四日市市と桑名市との間の幹線道路は完全に分断されて、災害対応に大きな不安がございます。

一方、これらの道路に代わって命の道となるべき図のオレンジ色で示しました県道四日市朝日線等々、現在県が道路改良事業をしていただいている、県道桑名大安線です。これらの県道と北勢バイパスをつなぐ道路が今日お願いをする交差点でございます。次の図をご覧ください。先ほどの図の丸い部分を拡大した航空写真です。北勢バイパスのこの交差点は非常に変則でございます、県道側から北勢バイパスに乗るためには、大きく迂回をしなければなりません。まず、県道から北勢バイパスに乗るための路線でございますが、ご覧の様な経路を通ることになります。まるで迷路のようです。次に北勢バイパスの川越側からみえ朝日インターチェンジに行く場合も、ご覧のような経路を通る必要がございます。また、現在の交差点では、迂回する区間で道路が折れ曲がっているため、大型車が通行できません。当町ではここに隣接する場所を工場適地に指定し、企業誘致をしておりますが、誘致には大きな障害となっております。このように折れ曲がった道を大きく迂回しなければならない原因は北勢バイパスにおいて、県道とつなぐための交差点が作られていないというためでございます。図のピンク色、緑色で示すような交差点が作られていれば県道側から四日市方面への図のピンク色の様に、川越側からはみえ朝日インターへ緑色で示すように行くことができます。これなら迂回する必要なく、また大型車も通行できます。ぜひこの交差点を安全で大型車の通行が可能になるような、完全な

交差点へと改良していただけますよう、お願いをいたします。

この道路につきましては、北勢バイパスの早期完成ということにつきましては、知事から本当にお力をいただいているわけですが、付近のストック効果、雇用の関係、隣接する色々な会社の方たち、住居も増えるというふうな状況でございます、日本の中でもこの地域というのは非常に恵まれた状況でございます、その中でこのような不思議なややこしい交差点がある、というふうな状況でございますので、ぜひこの辺の改良をよろしくお願いをしたいと思います。近隣の四日市市・川越町・桑名市も、この交差点を利用するための改良をやはり要望されておりますので、県におかれましても、国土交通省への働きかけをよろしくお願いをいたします。また、この要望につきましては、今日、朝日町の議員さんもたくさんお見えでございますが、朝日町議会としても県への要望の中で出ささせていただきまして、先ほど冒頭のあいさつの中でも申し上げましたが、この辺りの事についてちゃんと知事さんをお願いしてくれと、飯田議長からも言われておりますので、どうぞよろしくお願いをいたしません。以上でございます。

知 事

はい、ありがとうございます。町長がおっしゃっていただいたように僕は色々1対1対談で道路の説明を聞くのですけれども、今のスライドは動きがありすごくわかりやすかったですね。おっしゃっていただいたように交差点の形状によって大きく迂回をしなければならないとか、あるいは大型車両の通行が困難とか、あるいは沿線の企業活動に支障が出ているというふうなことも、我々も聞いているところであります。加えてここに工場適地があるわけでありまして、実際三重県、特に北勢地域は工場適地というか企業誘致を今一生懸命やっているんですけれども、適地がだいぶ減ってきているので、ここは交通的にも非常にいい場所ですので、我々も企業誘致を進めたい場所と感じています。現在この交差点の改良等について、国交省で今検討進めていただいていると聞いておりますので、朝日町さんと連携をして、国交省にも働きかけをし、いい形で改良をされ、今後のストック効果を生む、そういうような場になるように私たちも力強く働きかけていきたいと思っておりますので、よろしくお願いをしたいと思います。繰り返しになりますけれども、北勢地域は工場適地が減ってきていますので、非常にここは交通至便でありますから、期待できる土地であると思っておりますので、そういう観点からも国土交通省にもしっかりと働きかけていきたいと思っております。

(3) 閉会あいさつ

知 事

今日は栗田町長ありがとうございました。また、朝日町の関係の皆さんありがとうございました。そして傍聴いただきました館県議、そして町議の皆さんもありがとうございました。今日は3つお話があったわけでありまして、特に1つ目の部分のICTの部分については、朝日町の独自の取組でそれを伸ばしていくために県としてしっかりとサポートしていきたいと思っておりますし、2つ目の発達障害の関係は、ご要望いただいたようなことを丸っとそのままお答えは多分できない、ハードを作るというのはできないものの、それをカバーするためのソフトの部分でいかに皆さんのご不安を解消できるようにするかということ、県としてもしっかり知恵を出し、汗をかいてまいりたいと思っておりますし、最後の道路については、地方創生、朝日町で人口が増えていただいている若者たちや若い層をよりここで定着していくために働く場が必要で、ああいう工場適地を活用できるようにするためにも大変重要な取組であると思っております。私達も連携してしっかり取り組んで働きかけを強化していきたいと思うところでもあります。

後ですね、今日の対談項目にはございませんでしたけれども、先般、大変悲しい事件が朝日町でもありました。私も2期目においては、特に防犯・治安、そういう部分について、力を入れてまいりたいと思っております。またそういう部分についても、しっかり朝日町さんと協議をしながら進めてまいりたいと思っておりますので、何卒よろしくお願ひしたいと思っております。本日は誠にありがとうございました。